



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3521 URL <https://www.econach.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木隆太  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部 (氏名) 野村嘉之 TEL 03-6418-4391  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,396	35.0	109	-	105	-	38	-
2023年3月期第3四半期	1,034	106.7	△44	-	△50	-	△54	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 38百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 △55百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	1.44	-
2023年3月期第3四半期	△2.06	-

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,975	4,670	78.2
2023年3月期	6,108	4,632	75.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,670百万円 2023年3月期 4,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	-	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,860	32.2	150	-	145	-	60	17.5	2.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	26,466,366株	2023年3月期	26,466,366株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	10,483株	2023年3月期	8,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	26,457,534株	2023年3月期3Q	26,457,973株

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束には至っていないものの、行動制限の解除や感染症危機における体制強化の推進により持ち直しの気運が高まっております。しかしながら、世界的な資源価格の高騰、急激な円安の進行による物価の高騰などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯 新宿店」におきまして、当第3四半期連結累計期間の入館者数は前年同四半期と比べ1.2%増加し、24万1千7百人となりました。集客活動といたしましては、近年ブームとなっているサウナに関して、通常より高い温度に設定した高温サウナデーを設けるなど、サウナ関連イベントに引続き注力したほか、岩盤浴への集客イベントにも注力いたしました。8月には新宿店8周年を迎えるにあたり、館内を一部改装し新たなテナントとしてヘアサロン&ネイルサロン「p i z z i c a t o」と韓国エステサロン「H u a m o a」の2店舗が新規オープンいたしました。10月には、漫画コーナーを新設したほか、12月には女性の化粧水風呂をリニューアルし、従来、女性の岩盤浴をお申し込みのお客様限定でのご利用とさせていただいておりましたが、すべての女性のお客様がご利用いただけるよう解放いたしました。以上のとおり、「テルマー湯 新宿店」におきましては、引続き好調な運営となりました。

また、東京都港区西麻布の賃貸用不動産として活用していた「エコナック西麻布ビル」の一部を都心型のサウナ・スパ施設に改装しておりましたが、2023年4月12日に「テルマー湯 西麻布店」として新たにオープンいたしました。豪華エジプト調の都心型サウナ・スパ施設で、「新宿店」に比べサウナに特に力を入れた施設となっております。当第3四半期連結累計期間の入館者数は6万1千5百人となりました。また、2023年6月2日には同施設と一体となっております宿泊施設「サウナ&キャビン テルマー湯 西麻布」がオープンいたしました。サウナ・スパ施設内でも朝までゆっくりとおくつろぎいただくことはできますが、宿泊施設をご利用のお客様はベッド付の個室に加えてサウナ・スパ施設もご利用いただくことができます。また、「テルマー湯 西麻布店」の周知のため、テレビの情報番組や雑誌等の各種メディアへの掲載にも注力いたしました。10月には宿泊施設の稼働率を上げるため、宿泊料金を値下げしたほか、11月には漫画コーナーの漫画を大量追加し、ヨギボーなどでくつろげるスペースを増設いたしました。しかしながら、開業にかかる初期投資費用を計上していることや、客単価が想定よりも低くなったことから、「西麻布店」としては赤字スタートとなりましたが、「新宿店」が好調であったことから、温浴事業全体としては大幅な増収増益となりました。

その結果、温浴事業の売上高は前年同四半期に比べ35.8%増加し1,359,356千円、営業利益は前年同四半期に比べ323.7%増加し193,012千円となりました。

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有する「エコナック西麻布ビル」の住居部分の賃貸収益につきまして、継続して安定した収入を得ることができました。

その結果、不動産事業の売上高は前年同四半期に比べ11.4%増加し37,094千円、営業利益は11,880千円（前年同四半期は営業損失3,346千円）となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同四半期に比べ35.0%増加し1,396,451千円となりました。営業利益は109,578千円（前年同四半期は営業損失44,659千円）、経常利益は105,625千円（前年同四半期は経常損失50,171千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38,195千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失54,572千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、貯蔵品の減少や有形固定資産の減少などにより前連結会計年度末と比較して133,599千円減少し、5,975,052千円となりました。

負債は、未払法人税等の減少や長期借入金の減少などにより前連結会計年度末と比較して171,494千円減少し、1,304,445千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末と比較して37,895千円増加し、4,670,607千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月9日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,009,394	1,117,235
売掛金	61,218	94,279
商品	493	1,128
貯蔵品	39,175	1,404
その他	96,652	23,049
貸倒引当金	△2,207	△2,392
流動資産合計	1,204,726	1,234,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,517,153	2,508,868
機械装置及び運搬具(純額)	44,375	43,505
工具、器具及び備品(純額)	41,025	97,103
土地	1,834,794	1,834,794
建設仮勘定	215,538	—
有形固定資産合計	4,652,886	4,484,271
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
ソフトウェア	70	4,352
電話加入権	1,528	1,528
無形固定資産合計	85,044	89,327
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	167,602	168,347
貸倒引当金	△2,208	△2,197
投資その他の資産合計	165,994	166,749
固定資産合計	4,903,925	4,740,348
資産合計	6,108,651	5,975,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,098	41,427
1年内返済予定の長期借入金	150,948	178,728
未払金	151,757	114,448
未払法人税等	90,419	21,403
契約負債	7,479	9,753
前受金	2,843	4,437
賞与引当金	5,676	2,317
株主優待引当金	1,348	513
その他	42,557	67,223
流動負債合計	483,129	440,253
固定負債		
長期借入金	788,848	660,246
繰延税金負債	29,354	27,223
再評価に係る繰延税金負債	10,052	10,052
資産除去債務	160,761	162,088
長期預り金	3,793	4,580
固定負債合計	992,810	864,191
負債合計	1,475,939	1,304,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,235,309	4,235,309
利益剰余金	280,628	318,823
自己株式	△2,235	△2,535
株主資本合計	4,613,701	4,651,597
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	19,010	19,010
その他の包括利益累計額合計	19,010	19,010
純資産合計	4,632,711	4,670,607
負債純資産合計	6,108,651	5,975,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,034,055	1,396,451
売上原価	928,634	1,176,524
売上総利益	105,421	219,926
販売費及び一般管理費	150,080	110,348
営業利益又は営業損失(△)	△44,659	109,578
営業外収益		
受取利息	8	5
奨励金収入	1,000	—
受取手数料	1,335	786
固定資産賃貸料	384	384
補助金収入	—	1,956
その他	385	594
営業外収益合計	3,113	3,726
営業外費用		
支払利息	7,932	7,102
その他	693	576
営業外費用合計	8,626	7,679
経常利益又は経常損失(△)	△50,171	105,625
特別利益		
補助金収入	5,899	—
特別利益合計	5,899	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,271	105,625
法人税、住民税及び事業税	9,368	69,561
法人税等調整額	932	△2,130
法人税等合計	10,300	67,430
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,572	38,195
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,572	38,195

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,572	38,195
その他の包括利益		
土地再評価差額金	△1,153	—
その他の包括利益合計	△1,153	—
四半期包括利益	△55,726	38,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,726	38,195
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年6月29日開催の定時株主総会決議に基づき、2022年8月2日付で減資の効力が発生し資本金443,874千円を減少し、その全額をその他資本剰余金へ振り替えております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が4,235,309千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

該当事項はありません。